

2023年1月31日

国立循環器病研究センターあるいは大阪国際がんセンターにおいて心筋生検を受けられた
患者様・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の観察研究を実施しております。この研究は、診療業務における病理組織評価で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。また、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。その場合は研究のために収集した情報をすべて削除します。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

- ① 当院にて、2000年1月1日から2021年12月31日までに国立循環器病研究センターでがん治療関連心機能障害あるいは拡張型心筋症と診断された方で、当院心臓血管内科部門で心筋生検を施行された方
- ② 大阪国際がんセンターにて、現在までにがん治療関連心機能障害と診断され、心筋生検または剖検を行い、心筋組織が保存されている方

【研究課題名】 がん治療関連心機能障害の病理組織学的解析による発症メカニズムの解明

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 病理部 畠山金太

【研究の目的】 がん治療関連心機能障害の発症症例より得られた心臓組織を解析することにより、がん治療関連心機能障害の病理組織学的特徴を明らかにし、その発症機序を解明し予防法および治療法開発に寄与するための基盤データを得ることを目的とします。

【利用する診療情報】 心筋病理組織像、診断名、年齢、性別、基礎心疾患、身長、体重、冠危険因子ならびに併存疾患の有無、薬物治療歴、既往歴、家族歴、合併症、収縮期/拡張期血圧、心拍数、非薬物治療歴（ペースメーカーや植込み型除細動器など）、放射線検査(CT・MRI)・核医学検査、心エコー検査、血液データ（肝・腎機能、脂質代謝、糖代謝、貧血、炎症所見、BNP（またはNT-proBNP）、白血球、総ビリルビン、ナトリウム、カリウム、尿酸、トロポニン-T）、予後情報、心血管系イベントの有無、塞栓症イベントの有無、透析導入の

有無、およびそれらイベントの日付

【利用する試料（大阪国際がんセンターにて、現在までにがん治療関連心機能障害と診断され心筋生検または剖検を行い、心筋組織が保存されている方）】

（検体）心筋組織；ホルマリン固定パラフィン包埋切片

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者： 大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 主任部長 藤田雅史

研究責任者： 国立循環器病研究センター 病理部 部長 畠山金太

また、本研究で収集した試料・情報を、下記の施設で保管し解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

施設名及び管理責任者： 大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 主任部長 藤田雅史

連絡先： 06-6945-1181

提供方法： 郵送

【研究期間】 研究許可日より 2024 年 1 月 31 日まで

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する試料・情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この研究で得られた情報の二次利用は行いません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 病理部 畠山金太

電話 06-6170-1070(代表)